〈取扱い上の注意〉

⚠ 警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。

火　気　厳　禁

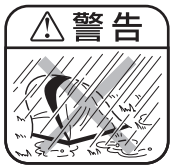
●テント内では、ガス・ガソリン・灯油・木炭などの燃焼物や燃焼器具を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒の危険があります。

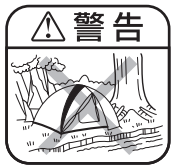
●タバコやキャンドル、ホットカーペットなどの熱源の取り扱いには十分注意してください。テント生地の損傷や火災の危険があります。

●テントに裸火などを近づけたり、テントのそばで焚き火や花火などはしないでください。テント生地の損傷や火災の危険があります。

●強風や豪雨などの悪天候時や、それらの状況が予測される場合には使用しないでください。テントの破損や事故につながる危険があります。

●開けた場所の大木の下、崖などの近く、水際や波打ち際での設営はしないでください。落雷、落石や土砂崩れ、増水や高波の危険があります。





●本製品は、キャンプ地での使用を前提に企画致しております。常設用や山岳用としては使用しないでください。テントの劣化や破損、事故につながる危険があります。

●寒冷期や降雪時には使用しないでください。気温が2℃以下になると降雪の可能性があり、テントの埋没や破損、事故につながる危険があります。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると、負傷または物的損害が発生する可能性があります。

●凸凹や段差のある場所、石・岩・木の枝などの鋭利なものや突起物があるところでは設営しないでください。破損や穴が空くなどの原因になります。

●テント設営の際、ポールやペグ・ハンマーなどの取り扱いにおいて、周囲に危険がないように十分注意してください。特に乳幼児にはご注意ください。

●組立・収納の際は、たたんだ状態のポールを落としたり、テント生地に引っ掛けないように十分注意してください。ポールの連結コードやテント生地が損傷する原因になります。

●設営完了後は、テントの変形や生地がたるんでいないことを確認してください。ルーフにたるみがある場合など、雨天時に雨水がたまりテントが破損するなどの原因になります。

●表示人数を超えて使用しないでください。破損や事故につながる原因になります。

●雨天時にテント内から生地に触れたり、物を立て掛けた場合など、雨漏りを誘発する可能性があります。

●直射日光の当たる場所や高温になる所、屋外に放置しないでください。テント生地や樹脂部品の劣化、金属部品が錆びるなどの原因になります。

●テント生地の色は、使用頻度により徐々に退色する可能性があります。

●使用後は、テント生地の汚れをナイロンブラシ等で落として日陰でよく乾燥させ、ポールなどの各部品は、汚れや水気をよく拭き取ってください。汚れや水気・湿気は、テント生地の色落ちやカビ、金属部品に錆が発生するなどの原因になります。

●お出かけ前に一度組み立てて、部品点数等を確認してからご使用ください。
●製品改良のため、外観および仕様は予告なく変更することがあります。
●修理・部品等が必要なときは、お買い上げの販売店、または本社、支店、営業所にお問い合わせください。

■製品に関してお気付きの点・ご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店、または当社アウトドアギア事業部までお問い合わせください。

本社ｱｳﾄﾄﾞｱｷﾞｱ事業部　TEL(0256)35-3117　新潟営業所　TEL(0256)35-3119
東京支店　TEL(03)3863-3955　北陸営業所　TEL(0256)35-3119
大阪支店　TEL(06)6305-0607　広島営業所　TEL(082)843-4450
名古屋支店　TEL(052)412-6297　高松営業所　TEL(087)835-3521
札幌営業所　TEL(011)641-4375　福岡支店　TEL(092)573-4600
仙台営業所　TEL(022)238-4511

CAPTAIN STAG
キャプテン スタッグ
パール金属株式会社 アウトドアギア事業部
〒955-8588 新潟県三条市五明190番地
TEL.0256-35-3117
受付時間 9:00~12:00・13:00~17:00（土・日・祝日は除く）

http://www.captainstag.net/

K 801　MADE IN CHINA

DOME TENT 270UV

CS ドームテント270UV〈5~6人用〉（キャリーバッグ付）

取扱説明書

No.M-3132

この度は、キャプテンスタッグの製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、取扱説明書はいつでも再読できるように大切に保管してください。

〈アドバイス〉

●設営場所は、平らで水はけがよく、風当たりの弱いところを選び、小石等は取り除きましょう。
●堅い地面や砂地など、地質や地面の状態に適したペグを使用しましょう。
●予備のペグやロープ等は常に用意するようにしましょう。
●ペグやガイドロープ、テントの張り具合はいつも点検するようにしましょう。
●インナーテントの下には、グランドシートより少し小さめのレジャーシート等を敷くようにしましょう。汚れや傷が付きにくくなります。
●生地は直射日光により劣化し、色あせや裂けを引き起こします。生地の寿命を伸ばすためにも長期間に渡る連続使用は避けましょう。
●雨天時や人間の呼気・体温などで起こる内外の温度差により、テント内に結露が生じます。時々換気を行えば、結露をある程度防ぐことができます。
●生地の汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤をスポンジに付けて落とし、洗剤分を拭き取ってから自然乾燥させてください。ドライクリーニングや乾燥機の使用はしないでください。
●テント生地の撥水性は永久的なものではありません。使用する前など、必要に応じて市販の防水スプレー等を使用してください。
●テント生地に小さな切れや裂けが生じた場合は、市販のリペアテープ等で修理してください。
●使用後は、ポールなどのスチール製品に市販の防錆スプレー等を塗布し、収納バッグに入れて屋内の乾燥したところに保管してください。